

今後の町立幼稚園のあり方を問う

答 3歳児保育、定員など議論する



玉城 陽平 議員

問 今後の町立幼稚園の3歳児の受け入れ等、あり方を問う。

教育長 検討委員会を今年度立ち上げ、3歳児の受け入れは検討されていく。

副町長 次の第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた子ども・子育て会議等で議論の対象としていく想定である。

問 園長会との調整、情報共有を丁寧に進めることを求めるがどうか。

こども課長 保育園側の意見は非常に重要だ。その意見を踏まえて影響等も議論していく。

問 4歳児と5歳児の定員割れを防げば、認可保育所の経営安定につながる。幼稚園と保育所の募集の順番を見直してはどうか。

町長 次年度の募集時期については検討していく。幼稚園側、保育園側の事務の進め方も調整しつつ、保護者の選びやすさの視点も踏まえて考えていきたい。

問 定員割れを防ぐために行政も一緒になって取り組んでいくべきではないか。

こども課長 保育園運営のためにも児童確保は必須で、定員調整などを今後も行っていく。

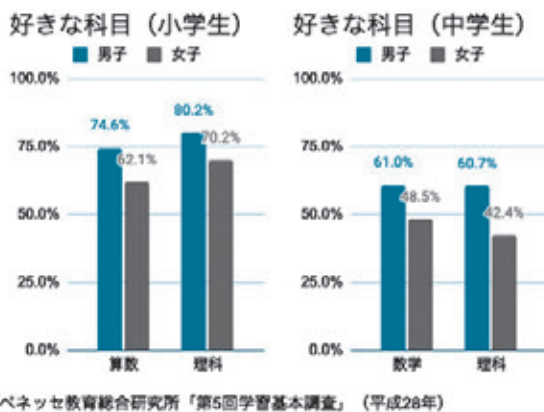


幼稚園 園児の様子

教育のジェンダーギャップ解消を

問 女性のデジタルスキル向上は経済的な自立につながる。女性は理工系に向いていないという無意識の思い込み（アンコンシヤスバイアス）の解消のための取り組みが教育現場で必要と考えるがどうか。

教育長 無意識の思い込みを解消するための取り組みには課題がある。



男女で理数科目の好き嫌いに差がある

問 教員の側が女子の理数系能力を否定的に捉えたままの関わりだと悪影響が及ぶ。教員を対象にジェンダーに関する体系的な研修が望まれる。この状況を校長会でも共有してほしいが、どうか。

学校教育課長 校長会でも共有していきたい。